

# インドネシア情報レポート

(2023年9月28日)

(公財) 大阪産業局 インドネシアビジネスサポートデスク

PT. JAC Consulting Indonesia

2023年9月、インドネシアでは第43回ASEAN首脳会議(ASEANサミット)が開催された。岸田文雄首相も来尼し、第26回日ASEAN首脳会議や第26回ASEAN+3(日中韓)首脳会議、第18回東アジア首脳会議、ASEANインド太平洋フォーラム(AIPF)及びジョコ・ウィドド大統領との首脳会談が開催された。この首脳会談では海洋安全保障、グリーンエネルギー、インフラ開発などの分野で2国間協力を強化することで合意された。今後、日系エネルギー関連会社や日系インフラ開発事業会社の更なる活躍が期待されている。

今月は日系企業のインドネシアに対する投資・進出状況についてご報告する。あくまでPT. JAC Consulting Indonesiaでご相談を受けた実績を纏めたものである。まず今年になり飲食業やスキンケア・化粧品業の進出のご相談が非常に多い印象を受けている。2億8千万人の人口ボーナスをチャンスとし、コロナが収束した今年から活発になっているように感じている。しかしながら実際に拠点の設立や駐在員事務所の設立までつながったケースは5%以下であり、まだまだASEANの1国としての検討段階の企業が多い状況である。今年ASEANの各国調査を行い、2024年に予算を立て、進出を組み立てていく企業が多いと予想される。現在は越境ECや販売代理店契約など多様な進出方法があり、企業のステージに応じたインドネシア進出が可能である。一方でインドネシア進出済み企業に関しても増資や新現地法人の設立のご相談が多かった。これはインドネシアのライセンス取得に関する課題や税務的な背景も持ち合わせている為、企業によって投資理由は様々である。追加投資を行った企業は商社と製造業で100%を占めている。商社はインドネシアを生産国とする為、自社工場及び製造会社を開業、製造会社はパススルービジネス(材料のまま販売)の増加による新たな商社の設立を行う計画が多かった。今後もインドネシア進出済み/新規進出のご相談は増加されると予想される。